

相談室便り



2010.10-2011.3 合併号

スタッフ紹介 ～中村麻里子さん～

～ 2010年4月より、中村麻里子 専門相談員(臨床心理士)をお迎えしました ～

私は昨年4月から、相談室のスタッフの一人となりました。どうぞよろしくお願いたします。

実は私は数年前まで、大学院生としてこの相談室および大学院にお世話になっていました。そしてさらにその前は、別の大学院でしばらく哲学の勉強をしており、中でも「心の哲学」という分野が専門でした。「心の哲学」では、心とは何か？心と体（脳）はどう関係しているのか？心を機械で実現することは可能なのか？など、心に関するさまざまな問いが扱われています。

哲学の勉強をしていたと言うと、「心理学と哲学は近いのでしょうか」と言われることがよくあります。たしかにどちらも心とは何かを探求し、生じている現象にミクロに寄り添う面を持っています。ただ、心理学の中でも「臨床心理学」の場合は、実際に来談される方との関係が必ずそこにあります。そのことの重みは、心理士として働くようになり、哲学との違いをふと考えるとき、ますます感じるようになりました。

また、昨年から専門相談員として相談室の運営にたずさわるようになり、来談される方に直接出会うだけではない、相談室を支えることの「臨床」的な部分の大きさも、しばしば感じています。まだ試行錯誤の毎日ですが、相談室に関わる方のお役に少しでも立つことができればと思っています。

2010年 相談室活動報告

東洋英和こころの相談室 2010年1月～12月間での活動状況について、ご報告いたします。

【インタビューについて】

年齢(才)	男性	女性	合計
0～5	3	1	4
6～12	1	2	3
13～18	1	5	6
19～25	0	5	5
26～39	7	12	19
40～59	3	15	18
60～	1	2	3
合計(件)	16	42	58

2010年1月～12月までの1年間に58件のインタビュー(初回面接)を行いました(表参照)。

年齢層ごとの分布については、例年とほぼ同じ傾向が続いています。

前年と比較すると、インタビュー件数は約2割減で、それに伴い継続面接の相談回数も減少しています(次頁表参照)。

【面接回数について】

年齢（才）	面接回数
0～5	28
6～12	155
13～18	174
19～25	101
26～39	325
40～59	547
60～	18
合計（回）	1,348

面接実施回数は、合計 1,348 回で（表参照）、前年と比べ、約 1 割減少しました。

援助の形態としては、約 7 割が心理面接（箱庭療法・夢分析を含む）、約 2 割がプレイセラピーとなっています。

必要に応じてコンサルテーションを行ったものが約 1 割あります。この他、他機関からの依頼によるアセスメントもあります。



【相談内容】

領域	件数
医療領域に関する問題	38
教育領域に関する問題	30
人生の悩みに関する問題	36
福祉領域に関する問題	10
司法領域に関する問題	2
産業領域に関する問題	5
その他	5
合計（件）	126

領域別の分類においては、例年通り医療領域に関する問題が多く約 3 割にのぼりますが、人生の悩みに関する問題も増えて約 3 割となっています。それに次いで教育領域に関する問題が約 2 割を占めています。

<領域内容>

医療領域：主に医療に関連している問題

教育領域：主に学校における適応と関連している問題

福祉領域：子育てに関する問題や家庭の問題

人生の悩み：ライフサイクルの各テーマに関連した悩み

産業領域：主に職場における適応と関連している問題

その他：上記のいずれにも該当しない問題

臨床心理士資格認定試験が実施されました

2010 年 10 月、11 月に財団法人日本臨床心理士資格認定協会主催の臨床心理士資格試験が行われました。本学からは昨年修了した臨床心理学領域修了生らが受験し、13 名が合格しました。

本学の合格率は 76.4%で、全国平均の 61.3%を上回る結果となりました。

発行 東洋英和こころの相談室 TEL 03-3583-7463

開室時間 月～金曜日（木曜を除く） 午後 2 時～午後 8 時

木曜日 午後 1 時～午後 8 時

土曜日 午前 9 時～午後 6 時

休室 日曜日・祝日

URL：<http://www.toyoeiwa.ac.jp/daigaku/kokoro/kokoro.html>